

令和3年度 冬季大会参加における注意事項（ガイドライン）

- ◎大会参加を申込むにあたって、以下の注意事項（コロナ感染防止ガイドラインを含む）を必ず確認し、開催要項と合わせて各指導者および育成会で周知・徹底を図ってください。
（チェックリストの項目にも、大会参加の注意事項を遵守することが盛り込まれています）

(1) 試合形式など

- ・ **試合間を1時間40分**の設定で進める。
- ・ 選手登録していない団員をベンチの後ろに立たせて応援することはしない。（登録選手15名のみ）
- ・ より安心安全な大会運営をめざし、TOは継続して当該チームの育成会が行う。**ただし、人数や方法については、選手権大会の時と変えて行う。**
 - 対戦する両チームの育成会から2名ずつ出し合い、計4名で1試合通して担当する。
 - ※TO主任のフォローが必要ですので、前に試合の指導者が相談して担当してください。
（特にアシスタントスコアラーが操作する「アロー」のチェンジ、24秒オペレーターが白のチームファウルを積み上げることを忘れないように注意が必要です）
 - チームで担当する役割は、座席に基づいて次のとおりとする。



- ・ モップパーは両チームから2名ずつ担当するが、**モップパー席は両チームともに応援保護者席側に設置する。**
- ・ 感染予防の観点から、スポーツ場面に適しているマスク（ランニングマスクや・バフ等）であれば、試合中に着用してプレーすることを認める。
- ・ 可能な限りハーフタイムにミニゲームを行います。（2Q終了後すぐに開始できるよう協力してください）

(2) JBA 公認コーチライセンスをもった指導者が不在の場合

- ・ 急遽やむを得ない事情により、試合当日に JBA 公認コーチライセンスをもった指導者が不在となる場合は、大会実行委員長に「公認コーチ不在届」を提出し、理事長の承認を得ること。（HPに書式あり）

(3) 会場使用の注意事項

- ・ 指定された時刻を守って入場してください。（選手は試合開始45分前入館、保護者は15分前入館）
 - ※入館5分前になったら、代表者が名簿等を提出しに受付へお越しください。
- ・ **マスク（「不織布」を推奨）を着用し**、会場内に設置している消毒液で手指消毒を適宜行ってください。
- ・ 会場は土足厳禁のため、上履きを必ず持参するとともに、外靴は各自で靴袋などに入れて持ち歩く。
- ・ ごみは各自ですべて持ち帰りください。（館内のごみ箱は絶対に使用しないこと）
 - ※トイレや手洗い、消毒等で使用したペーパータオルは、本部会で設置してあるゴミ袋の中に捨てる。
- ・ 会場内では水分補給以外に飲食はご遠慮ください。
- ・ **会場によって控室や動線が異なりますので、それぞれの施設館内図を必ず確認し、利用のきまりやルールを守ってください。**

(4) 駐車場について

- ・ 各チームの駐車プレートの掲示を徹底してください。
- ・ HPにアップする駐車場図を確認し、マナーを守って安全に利用して駐車してください。

- ・ 駐車場は台数制限を設けていませんが、選手送迎の際には、車内でも感染予防にご配慮ください。

(5) アップについて

- ・ 試合前のアップは、すべての会場で試合前のコートを使用します。
- ・ (写真撮影はないので) 両チームがそろって始められる状態が確認できてからアップを始めてください。
- ・ アップは自ベンチ側で行い、試合 10 分前からは相手ベンチ側で行う。
- ・ **アップをする時のかけ声などは出さず、不必要な会話も控える。**
- ・ アップ中の感染予防や健康状態を確認するために、指導者や保護者が必ず見守るようにしてください。

(6) 団旗について

- ・ 試合を行うチームだけがベンチの真上に掲揚し、試合が終わったら速やかに外してください。

(7) 感染予防対策にかかわる注意事項

<大会前>

- ア) 開催要項に記載してある「大会参加募集にかかわる注意事項」のとおり、大会参加を認めない場合があることをあらかじめご了承ください。
- イ) 選手、保護者、指導者は、日頃の感染予防を継続するとともに、大会 2 週間前からは特に、毎日の検温を欠かさず行って健康状態に留意し、体調管理に努めてください。**(選手・指導者・保護者は、チェックリストを活用し、1月15日から検温結果を記録して提出する必要があります。)**
- ウ) **新型コロナウイルス感染症と診断された者との濃厚接触がある場合、該当する選手・指導者・保護者は参加できません。**
- エ) **感染が疑われる同居家族など身近な人との接触がある場合、該当する選手、指導者、保護者は参加できません。(感染の恐れが拭えない以上は参加を認めることができないため、同居家族に体調不良や風邪症状がある場合は、早めに医療機関を受診して医師の判断を仰いでください)**
- オ) **大会参加の4日前から37.5℃以上の発熱等の体調不良があった場合、当該者は大会に参加できません。ただし、当該者が練習等の活動を自粛し、チームとの接触がない場合は、当該者を除きチームの参加を認める。**
- カ) 育成会は、自チームの選手と応援保護者に今大会用のチェックリスト(承諾書)をそれぞれ配付し、大会参加の注意事項を確認してチーム全体に周知する。
- キ) 育成会は、応援保護者の人数が定員以下になるように調整し、【R3 選手権】参加者名簿(選手・保護者)を作成しておく。(個人のチェックリストNo.と必ず合わせること)
※**全会場共通 → フロア応援席に20席 用意します(モッパ席も含む)**
※「【R3 選手権】感染防止チェックリスト・承諾書」(PDF)と「【R3 選手権】参加者名簿」(Excel)は、大会ごとに必ずHPから新しいものをダウンロードして活用してください。
※各チームの試合日程に応じて、適した様式を選択し、印刷してください。
(検温の記録欄が異なるため、必ずチームで確認した上で記入してください)
- ク) 感染状況によっては、応援保護者の数を減らす、または入れずに無観客で試合を行うことも検討する。
- ケ) **大会の開催5日前の練習試合や合同練習は控える。(男女でのゲーム形式・合同練習も控える)**

<大会当日>

- ア) チーム代表者は、入館する前に「【R3 選手権】感染防止チェックリスト・承諾書」を確認して、選手・応援保護者の分をそれぞれとりまとめておく。
※万が一遅れて入館する者がいる場合は、その旨を名簿に記入して受付係に伝えておく。
- イ) 各チームで作成した参加者名簿と、当日の参加者およびチェックリストNo.に相違がないことを確認する。(当日になって参加者の変更があった場合は手書き修正でかまわない。)

→アとイは、A4のクリアファイルと一緒にに入れて、日ごとに毎回提出する。

※選手用は選手の入場時に、応援保護者用は応援保護者の入場時にそれぞれ提出すること。

※指導者用については、各自で大会本部に提出・報告するため、チームと一緒に提出しない。

ウ) 応援保護者は、試合時刻の20分前に集合し、受付係の確認を受けてから15分前に入館する。

※その際は、①代表者が館内に入り、受付係にそろったことを伝えて名簿を提出する。

②入口で手指消毒を行い、会話をせずまとまって速やかに入館する。

③必要に応じて非接触型温度計（協会備品）を使って再検温を行う。

エ) 応援保護者と指導者は、必ずチームのIDカードを着用する。

オ) 選手は試合時刻の50分前に集合し、受付係の確認を受けてから45分前に入館する。

※その際は、①付き添い保護者が館内に入り、受付係に名簿を提出する。（②③保護者と同様）

④入館したら控室には行かずにそのままベンチに入る。（荷物はベンチの後ろに置く。）

カ) 付き添いとして保護者（4名まで）は選手と一緒に入館し、選手に帯同してください。（安全面の配慮）

※その4名は名簿上で確認できるように備考欄に記入しておく。

<試合中の注意事項>

ア) 試合の前後やクォーター間などに、こまめな手洗いや消毒を行う。

※チームで用意した手指消毒液をベンチ内に置いて、適宜活用してください。

イ) 保護者・指導者は、試合中にマスク（「**不織布を推奨**」）を着用する。

ウ) 選手は、アップが始まったらマスクを外して、不必要な会話や発声は控える。ベンチでは、可能な限り隣同士の間隔を空ける。**応援は拍手程度とし、常に声を出し続けたり大声を出したりする応援はしない。**

※試合に出ない選手は、ベンチ内でマスクを着用する。

エ) 入場時の挨拶や指導者への挨拶などは、狭い場所で団員が大勢集まって行わないようにする。

オ) 試合前の円陣や声出しは控える。

カ) 試合前後の選手同士の握手、試合中のハイタッチや至近距離での声かけは行わない。

キ) 応援席では一定の距離を保ち、保護者から声を発する応援は控えて拍手のみとする。

ク) 試合中の写真・ビデオ撮影は応援席から行い、離れたり立ち歩いたりしての撮影はご遠慮ください。

ケ) 試合の動画（ライブ）配信については、次の2点を条件に、各チームの責任において行ってください。

①観戦に来られない保護者やチーム関係者に対する配信が目的であること

②チーム内に限った閲覧のみとし、動画をネットやSNS上にアップしないこと

コ) 選手同士で、タオルやドリンクボトルなどを共用しない。

サ) 試合直前、直後のミーティングは時間をかけず、適切な距離をとって行う。

<試合後の注意事項>

ア) 試合後は、審判やTO、応援保護者への挨拶を行わずに、速やかにベンチを空ける。

イ) 試合直後に廊下やロビー等、狭いスペースでのミーティングは控える。行う場合は、チーム控室等を活用して短時間にする。やむを得ない場合は、自ベンチ前のコート内にて短時間で行う。

ウ) 選手は荷物をもって控室に移動し、着替えやクールダウンのほか、手洗いや消毒なども行う。

エ) 更衣室などの共用スペースではお互いに気を配り、一度に大勢の人が利用しないようにする。

オ) 試合後は、速やかな退館と、育成会による応援席やベンチの消毒作業にご協力ください。

カ) 試合後は、センターサークル付近にて、指導者研修クリニックを行う。（選手権大会と同じように）

クリニック対象者：両チームの指導者1名ずつ、審判2名、コミッショナー1名の合計5名

キ) 大会終了後、2日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会実行委員長に報告する。

※このガイドラインは、JBAおよびHBAから発出された新型コロナウイルス感染防止ガイドラインにもとづき、地区U12部会で検討・作成しています。